

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	百貨店（営業企画）	・消費税増税の影響はほぼ解消されたものと考えられる。店舗の企画力と伸び続けている外国人観光客の後押しで、現状を継続できるものと予測している。	
		コンビニ（経営者）	・学校が近くにあるのでイベント関係が多くなっており、期待している。	
		衣料品専門店（経営者）	・梅雨も明けて、本格的に夏が到来しこれから夏休みに入るので期待は持てそうである。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・この先2～3か月の予約状況も好調で、大きな台風等の影響が無ければ、稼働率において前年同月実績を大きく上回ることが見込まれる。沖縄観光は全体的に好調の模様である。航空機の輸送旅客実績及び見込みも良い。	
		旅行代理店（マネージャー）	・消費税増税にも大分慣れてきて違和感が無くなりつつあるので、夏休みに向けて需要が増えると期待している。	
		ゴルフ場（経営者）	・客単価を多少落としても、それを上回る来客数の増加があり、景気が上向きになってきている実感がある。	
	変わらない		一般小売店〔菓子〕	・特に大きく変化するような感じは受けない。
			スーパー（販売企画担当）	・マイナス続きだったが最近では客単価のアップにより前年並みに戻ってきている。しかし、来客数はマイナスのため、今後はまだ何ともいえない。
			衣料品専門店（経営者）	・来客数、売上高等にさほど変化はみられない。今月も客の様子から季節物の商品を積極的に探している雰囲気はまだまだ感じられない。消費的にはまだ上向きになっているとはみられない。まだまだ様子見である。
			その他専門店〔楽器〕（経営者）	・全体的には景気が上向いているような景況感はあるが、交付金がらみの一部の人達なのであろう。弊社付近の商店街で景気の良い話は全く聞かない。今年は旧盆が早い時期にあり、「一万人エイサー」も20周年を迎えるので、夏のイベントで落ち込みをカバーできるかどうか。厳しい状況が続くそうである。
その他専門店〔書籍〕（店長）			・夏に向けて観光客の増加などで期待したいが、これといった決め手は無く、景気はやや悪いままで推移しそうである。	
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）			・雰囲気としては、高付加価値商品も動くようになり業種によっては良くなっているように感じるが、飲食に限って言えば、求人難がクリアできないと、手の打ちようがない。	
通信会社（店長）			・新料金プランの話題性から現在の好調となっているため、徐々に落ち着いてくるとこれからの伸びは期待できない。	
通信会社（サービス担当）			・消費税増税の反動や、新規キャッシュバック終了の反動もあり売上は低迷している。	
住宅販売会社（代表取締役）			・物価も徐々に上昇しており、賃金の上昇が無い限りは、現状より更に景気が良くなる要因が見当たらない。	
住宅販売会社（営業担当）	・消費税増税後の来場数は変わらないとみている。また世帯年収800万～1,000万クラスは消費税8%はあまり気にしていない様子である。まだまだ住宅ローンの金利は低く、住宅ローン控除もメリットが大きい。			
	やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・知事選の混乱が大きく影響するとみられる。	
		コンビニ（エリア担当）	・天候に左右され、稼げるときに稼げないと数か月影響する。競合の出店も多く、既存店の生き残りが厳しい。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・物余りなのか、特に衣料品が大変厳しい現状である。周りの大型店の集積も原因だと考えられるが、次第に個人店での売上増、ニーズへの対応は大変難しくなっており、零細の小売店の今後は危惧される。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良くなる	輸送業（代表者）	・那覇空港滑走路の増設工事は始まったばかりで、離島全体の需要も堅調なうえ、台風シーズンに向け船舶の需給関係は一段と締まってくると考える。	
		食料品製造業（総務）	・いよいよ夏場のお中元商戦、行楽シーズンもスタートし、引き続き観光客の増加も見込まれる。景気の上向き感も相まって、消費の増加が期待できる。	
	やや良くなる	建設業（経営者）	・新築の引き合い件数が増加している。	
		輸送業（営業）	・沖縄向け貨物物量が増えているが、物流会社のキャパシティは大きく変わっていないとみられる。受託料金を若干上げても受託できる可能性が高くなる見込みである。	
	変わらない		窯業・土石製品製造業（経営者）	・横ばいの見通しである。
通信業（営業担当）			・今後2～3か月先については受注単価等の状況は変わらないとみられるが、発注先が積極的に人材育成に協力してくれるので、その先は明るいと考えられる。	

	広告代理店（営業担当）	・「変わらない」と回答しているが、場合によっては「やや悪くなる」可能性があると感じている。その大きな要因は、県外資本の企業が県内市場に積極的に参入しており、販促予算の投資先が県外へ流出する可能性があることである。弊社は県内企業を主な取引先としているが、この状況を勘案すると、民間企業の販促投資が拡大する見込みが希薄な環境下においては、今後厳しくなる可能性があると感じている。
	会計事務所（所長）	・消費税の増税により落ち込んだ消費は回復が見られると考えていたが、観光客数は増加しているものの外国人観光客も多いため、客単価が伸びない。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなる	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（総務担当） ・最近では毎月のことであるが、求人件数が前年同月比増が続いており、今が上限と思えるほど良い状況が継続している。現状でも前年同月比は微増している。 学校〔専門学校〕（就職担当） ・社会全体に活気が出てきたように感じられる。どの業界でも人材不足に悩まされている様子である。 学校〔大学〕（就職担当） ・希望的観測も含むが、6月が良かったので、継続していきそうである。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当） ・夏場に向けて観光関連での受注が増えているが、派遣スタッフの確保ができず、マッチングが難しい状況にある。 求人情報誌製作会社（営業担当） ・求人数が落ち着いてきている。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-